

第2回 釧路川堤防技術検討委員会

釧路開発建設部は、大雨に強い釧路川の堤防整備手法を検討するため、有識者からなる「釧路川堤防技術検討委員会」を平成30年6月に設置しています。今回の委員会では、釧路川の河道変遷に着目した調査結果などを基にした検討や、今後の観測等の内容について検討が行われました。

本委員会では、近年大雨による堤防の法面すべりによる被災が発生している釧路川を対象として、雨水や洪水に対して堤防の信頼性を向上させる対策案の検討を行います。専門的知見を有する有識者による検討を通じて今年度中を目途に検討結果を取りまとめる予定です。

第2回 釧路川堤防技術検討委員会の議事要旨

- 日時：平成30年8月6日（月曜日）15:30～17:30
- 場所：釧路地方合同庁舎 5階共用会議室
- 出席者：委員長 福岡 捷二（中央大学研究開発機構 教授）
委員 川口 貴之（北見工業大学 准教授）
" 川尻 峻三（北見工業大学 助教）
" 早川 博（北見工業大学 教授）
" 林 宏親（寒地土木研究所寒地地盤チーム 総括主任研究員）
" 前田 健一（名古屋工業大学 教授）
" 森 啓年（山口大学 准教授）
" 矢部 浩規（寒地土木研究所寒地河川チーム 上席研究員）



委員会の様子(H30.8.6 釧路地方合同庁舎)

■議事要旨

前回の委員会意見をもとに現地調査や検討を進めてきた事項について議論が行われました。

（主な意見等）

堤防天端の低い箇所は、土質調査の結果と旧河道の位置など取得した情報を重ねて分析するとともに、堤体と基盤のどちらが沈下したのか等にも着目した整理を行うことなど、現地状況の把握等についての留意点が提案されました。

また、調査結果の分析により、釧路川では降雨の堤体への浸透に注目すべきであり、現況堤防の破壊メカニズムを把握するための現地観測等を立案し検討を進めることとされました。